

「第1回 卒業生を囲んで」を行いました。

令和5年7月8日（土）金澤 学

去る7月8日（土）に、TSS（津島高校サポーターシステム）を活用した、「第1回 卒業生を囲んで」を行いました。

当日は、模試が終わった後に約30名の3年生が、卒業生のお話を聞きました。

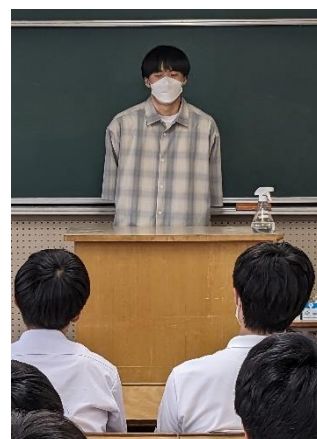
・74回生 名古屋大学工学部2年生 横田 侑汰さん

見たことのない数式がわかる楽しさや、直感的に成り立たないものが、成り立っていることがわかる瞬間が楽しいと感じる。大学の授業は面白い。入試の直前になって、詰め込まなければならないような勉強方法は、自身の体験からもお勧めしません。



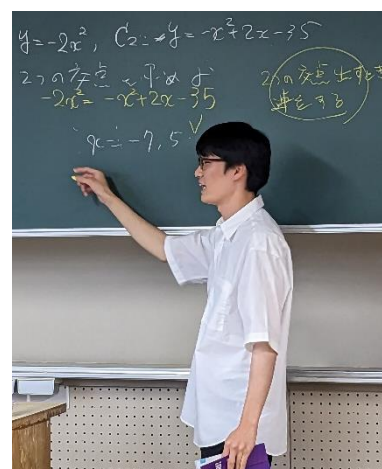
・74回生 名古屋大学工学部2年生 木村 琉翔さん

自分も夏休みはがむしゃらに勉強していた。ライバルと呼べる人の存在は、勉強を頑張る際に必要だと感じている。共通テスト後、少々浮かれていたが、先生にカツを入れてもらって目が覚めた。解き方がわからない問題は、答えを見てどうやったらそういう解き方につながるのか、常に考えていた。



・ 73回生 名古屋大学文学部3年生 後藤 駿介さん

名古屋大学の文系学部の紹介（文学・教育・法学・経済・情報※一部）。目標を定めて、志望校を決める。自分の立ち位置を決めることも大事。英語は単語力でターゲット1900は覚えて当然。たくさん読むことや音読は効果がある。特に音読はリスニング力向上



に効果があると感じた。熟語はビンテージなどで出てきたら覚える程度。ライティング力向上のためには添削が効果的。国語も語彙が大切。漢文は古文ができないとできないので、古文の単語や文法、古典常識や句形を覚えることが大事。学力向上のためには興味に勝るものはない。アウトプットを大事にする。自分のノートに自分のわからないことをリストアップしておくといい。手が止まった時をチェックしてノートに目立つように記載しておく、模試の前に見直すことができるといい。チームで学びあいましょう。

進路指導主事の鈴木先生などからは、3名の学生時代の様子が説明され、決して順風満帆だったわけではなかったことなどが紹介されました。それによって、これから頑張れば、十分志望校に届くという思いを参加者がもつことができた、大変有意義な時間になりました。

